

2016 年度活動報告 CJP 授業： インディペンデントスタディ 文法・読解 3

中野 陽（関西学院大学日本語教育センター）

1. クラス概要

本クラスは日本語レベル 2（初級後半終了）ならびにレベル 3（中級前半終了）の学習者を対象とするが、今学期の受講生は前者が 8 名、後者が 1 名、合計 9 名であった。1 週間のコマ数は 3 コマである。クラス目標は、「①初中級レベルの文章を読んで理解し、それに関連する内容について話したり、書いたりする②他者の考えを知り、理解を深めることができるようになる。」で、使用教材は、『中級へ行こう』『中級を学ぼう』（ともにスリーエーネットワーク）であった。

2. 授業内容

受講者は初回の授業で今学期の到達目標や各技能の自己評価などにもとづき、学習計画を立てた。

『中級へ行こう』『中級を学ぼう』にある新出語彙を使った短作文と、『中級へ行こう』の各課にある理解確認問題（チェックシート）をすることは義務付けたが、それ以外の学習は学習者自身の決定に任せた。受講者は毎回、授業の冒頭でその時間に行う予定のタスクを書き、授業終了 10 分前には毎日の「振り返りシート」に、タスクの達成度ならびに次回授業までに準備すべきことなどを記入した。また、初回授業と最終授業に同じ内容のテスト（『中級へ行こう』の総復習問題）を解き、学期前後の伸びを確認した。

3. 成果と今後の課題

受講者からのコメントは、「チェックシートの問題を解くことで自分の理解度がわかった」「単位取得のために教室に行くことによって、結果的に自習する環境が与えられたことが自分にとってはよかった」「教師に作文を直してもらったり、説明を受けたりすることができてよかった」という肯定的なものがあった一方で、「タスクが一部決められていたため、真の意味でのインディペンデント学習ではないと感じた」「教科書の説明が不十分なため、自律学習には向かない（機能語については文型辞典などで補えるが、複合助詞など学習者が自力のみでは学びにくい項目も掲載されている）」といった不満や、「学習方法などを他の学習者とシェアするためのグループワークがあるとよかった」といった提案もあった。今後の改善点の参考にしたい。